

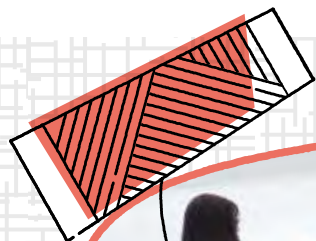
岩手県立視聴覚障がい者情報センターだより

タペストリー

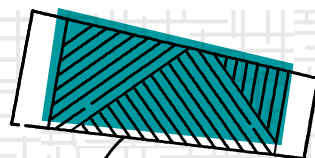
Tapestry

43

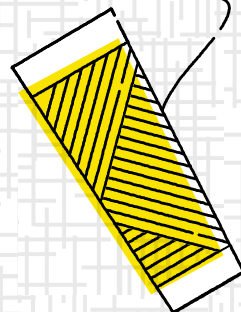
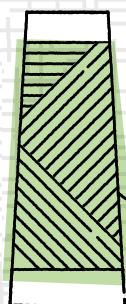
2020.6.10



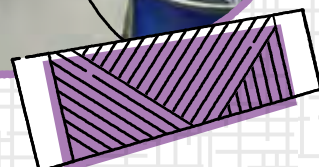
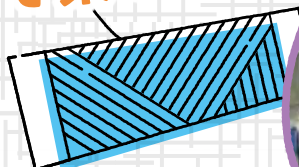
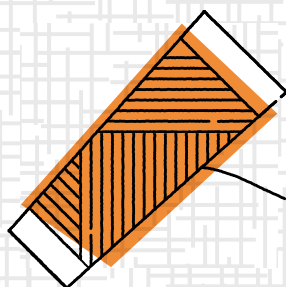
点字のルールになるほど



地図を読むって...



作って楽しい!! 食べておいしい!!



関連記事は 5 ページ

所長挨拶

大芦 洋悦



令和2年度の事業実施に当たりまして、日頃、当センターを御利用いただいております多くの皆様、運営等に御協力をいただいております関係の皆様、に厚く御礼を申し上げます。

当センターは、身体障害者福祉法に規定された点字図書館と聴覚障害者情報提供施設の両施設を一体として運営していることから、昨年度には視覚に障がいのある方と聴覚に障がいのある方の支援機器展を「目と耳のコミュニケーションフェスタ」として合同開催する等、これまで両施設の特性を組み合わせて、視覚に障がいのある方と聴覚に障がいのある方及び両障がいの関係団体の交流を図るユニークな活動を展開して参りました。今後とも全国的

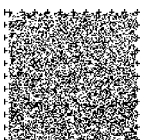
には数の少ない両施設を一体として運営しているという当センターの特性を活かして参りたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、本年度は新型コロナウイルス感染症のパンデミックという経験したことのない未曾有の事態のなかでのスタートとなりました。4月7日には「新型コロナウイルス特措法」に基づく緊急事態宣言が7都府県に発出され、4月16日には全国に拡大されるという緊迫した情勢が続きましたが、5月25日に全国すべてで解除となり収束の方向に向かっているようです。

本県は全国で唯一感染者が発生していない状況（5月末現在）ではあるも

の、当センターの事業にも影響は出しており、延期、中断等のやむなきに至った事業もありますが、緊急事態宣言の解除を受けて、感染防止に配慮しつつ、できるだけ早く正常な事業運営を取り戻したいと考えておりますので、ホームページ等での情報発信に御注意いただきたいと存じます。

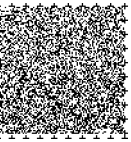
利用者の皆様におかれましては、国等が呼びかけております様々な感染防止策実践されて健康にお過ごしいただけますとともに、元気に安心して当センターを御利用いただけるように取り組みを進めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



視覚部門

視覚部門では、4月10日に開催した点訳・音訳・録音図書編集・ITサポート体験会を皮切りに今年度の事業がスタートしました。

点字図書、録音図書を製作する奉仕員養成講習会については、既にお申し込みを頂いた方もありますが、新型コロナウイルス感染症の影響により7月以降に開催を延期し実施する予定です。この講習会は約1年間の長丁場となりますが、良質な図書を利用者の皆さんにお届けできるよう、各講師の協力を得ながら、奉仕員の育成に取り組んでまいります。



「奉仕員のつどい」や「機器展」につきましては、



開催が流動的となっております。また、昨年度好評を得ました、iPhone、らくらくスマートフォンの操作基礎を学ぶ「NTTドコモハーティ講座」につきましても、状況が落ち着いてから企画できればと考えております。

このような状況下ではありますが、利用者の皆様からアンケートでいただいたご意見を参考にしながら、お役にたてる情報の発信に努め、より良いサービスの提供が出来るよう臨機応変に取り組んでまいります。

令和2年度

重点事業

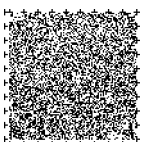
手話通訳者養成事業及び要約筆記者養成事業では、昨年度それぞれ6名の合格者を出すことができました。講師の皆様をはじめ、多くの方々のお力添えにこの場を借りて感謝申し上げます。今年度は2年間の養成課程の初年度にあたります。手話は5月から、要約筆記は8月からの開講を目指していましたが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、日程の変更を検討しているところです。

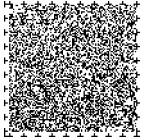
ビデオ制作については、「目で聴くテレビ」への番組提供を9月以降に行う予定です。また、従来の「ぶちたべビデオミニニュース」の他に、身近な情報をスピーディーに随時配信していきます。ホーム

聴覚部門

ページからアクセスできますので、是非ご覧ください。

その他にも「機器展」、「文化・学習・レク事業」、「モバイルブラリー」、「パソコン個別サポート」など、今年度も実施する予定ですが、今後の情勢の推移を見極めながら、予定が固まり次第、皆さまにお知らせして参ります。





点訳・音訳・録音図書編集奉仕員・ ITサポート 体験会

4月10日(金)、視覚部門の図書製作奉仕員及びITサポーター体験会を開催し、県内から約20名の方々に参加いただきました。

今年度は、点訳、音訳、録音図書編集・ITサポートの4つの体験コースに分かれ、時間を午前と午後の各1時間ずつと設定し、希望のコースを体験してもらいました。

点訳は点字の読み方や点字器を使って書く体験、音訳はマ

イクの前で原稿を読みパソコンを操作しながら録音をする体験を行いました。

録音図書編集は録音した音源をパソコン編集ソフトを使ってCDに編集する体験、ITサポートは音声読



み上げソフトを使用してマウスを使わずに操作する体験などを行いました。

当日は、新型コロナウイルス感染症予防対策として「三密」を避け、消毒や換気を行いながらの実施としたために、体験者の皆さんにはご不便をおかけしましたが、ひとつのコースに絞ってじっくり体験していく方や4つのコースをひとりで体験される方もおり、点

字図書と録音図書が奉仕員の手によってどのように製作されているのか、またはITサポーターの活動を知っていただく良い機会となりました。

視覚障がい・
肢体不自由の方への

パソコン サポート について



当センターでは、視覚に障がいのある方、肢体不自由の方へパソコン操作の個別サポートを行っております。

パソコンの電源入切、キーボードのみを使用して操作する方法など、それぞれの特性に合わせたサポートを実施いたします。「代わりにやってあげる」のではなく、「ひとりで操作できるようにするためにはどうしたらよいか」を考え、サポートいたします。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、まだ開始しておりませんが、今後の見通しについてはホームページ等でお知らせいたします。

担当…IT推進専門員 佐々木 昌広

令和元年度

点字・音訳・手話 要約筆記(筆談)

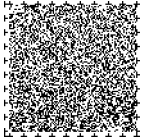
体験スクール開催

1月25日(土)当センター研修室にて、18名の参加により開催しました。

点字の成り立ちや書き方の説明に続き、参加者個々の氏名を点字器を使って書き、講師が添削、ほとんどの方がご自分の名前を書くことができていました。

音訳は小説、路線図、家電の取扱説明書の録音を聞いてから、□の体操や早□言葉にチャレンジ。例えば「お綾や 親にお謝り お綾や八百屋にお謝りとお言い」を早□言葉で発声し、なかなか上手にお読みになっていました。

手話の体験では、家庭の中の音にはどんな情報があるのか考



え、聴覚障がい者はその情報をどのように得ているのかを理解したあと、挨拶の手話を覚えて隣の席の人と楽しく、にこやかに挨拶していました。

要約筆記体験では、「速く」「正しく」「読みやすく」の三原則があり、そのためのルールについて説明を受けたあとで、いざ！筆記。読み手にわかりやすく書くって、難しいという感想が聞こえてきました。

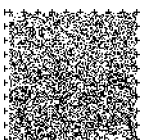
最後は、岩手盲ろう者友の会会員さんから、視覚と聴覚に障がいを持つ人たちの暮らしとその方たちをサポートする介助員さんについて紹介いただきました。今回も一日で様々なことが理解できるのでは、とても良いと好評でした。

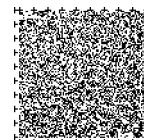


2月11日(火・祝)に当センター研修室で、令和元年度2回目の文化・学習・レクリエーション事業として「作って楽しむひな祭り和菓子」を開催。18



名の方たちに参加いただきました。講師の竹芳(ちくほう)・長澤武久さんの手が造り出す、梅・桃の花やうぐいすなど四季折々の和菓子に感動。参加者もひな祭りの時季をイメージした2種類の和菓子づくりを体験、1個は実食、1個はお持ち帰りとなりました。講師の楽しいお話も加わり、美味しく楽しい時間だったとの感想が聞かれました。今年度も楽しい企画を考えたいと思います。





完成しました!!

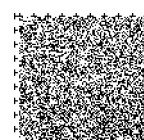
自主制作DVD

自主制作最新シリーズ「とくちゃん
の知っとク! なっとク!」困った時の
110番アプリ使い方を覚えよう」が岩
手県警察本部協力のもと完成し、4月から
字幕(手話)入りビデオライブラリーに加
わりました。「110番アプリ」とは聴覚
や言語に障がいのある方など音声による通
話が困難な方が警察に通報するための専用
のアプリで、日本全国どこからでも利用す
ることができます。事故や事件等に遭遇、

周りには自分ひとりしかない! となつた
とき「110番アプリ」を使って警察へ通
報! の流れを『岩手県警察本部通信指令課
キャラクターいわてまもる係長』を交え字
幕・手話付きで分かりやすい内容で制作し
ております。ぜひご覧ください!!
このほかにも自主制作DVDには「ご存
知ですか? NET119」や「減災を考
えるもしものときの日頃の備え」等々
ございます。どうぞご利用ください。



令和2年度
岩手県盲ろう者通訳
介助員養成講座の
ご案内



視覚と聴覚の二つの障がいを持つ方々を
「盲ろう者」と呼んでいます。

「盲ろう者」の社会参加への支援をして
いただく方々を養成します。

受講対象者 盲ろう者の手伝いをした
い、また活動に興味のある18歳以上の方

募集人数 20名(定員になり次第締切)

申込み締切 令和2年8月30日(日)

受講料 テキスト代1,728円(予定のみ)

講座日程 9月13日①、20日①、27日

②、10月10日③、18日②、25日②、11月3日

③祝、8日②、15日②、22日②、全10回

毎回10時~15時30分 最終日は12時30分終了

会場 岩手県立視聴覚障がい者情報セ

ンター 研修室又は映写室

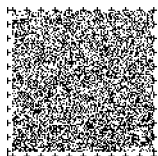
申込・問合せ先 岩手盲ろう者友の会

事務局 佐々木

電話 090・6781・5054

FAX 019・6006・1747

メール iwate_db@yahoo.co.jp



職員紹介

副所長 庄司 智子



*運営・業務全般、ゼーんぶみてます。
支えてくださる皆さんと職員が健康で笑顔で過ごせるように、と願う毎日です。

情報支援主査 千葉 里美



*視覚部門の総括 *奉仕員養成事業や表彰関係等
「笑う門には福来る」をモットーに何事にも笑顔で前向きに頑張りたいと思います。

情報支援員 熊谷 ゆき子



*点訳奉仕員養成講習・研修 *プライベートサービス *専門技術提供(点訳) *情報機器の普及(機器展)・貸出等 *スクール *接遇講座等

点訳担当4年目、やっと慣れてきましたがまだまだですね…。頑張ります！

情報支援員 田上 礼子



*音訳・音訳校正奉仕員の養成 *テキスト
デイジー製作 *情報支援機器の相談支援
*身体障がい者パソコンサポーターの派遣など

新たな業務が加わり、新しいことを学べるとワクワクしております。

情報支援員 遠藤 綾



*デイジー図書製作 *デイジー図書編集
奉仕員養成 *録音雑誌の貸出 *施設予約
*ボランティア駐車場

利用者の皆さんに楽しんでいただける録音図書製作を目指します。よろしくお願いいたします。

情報支援員 後藤 亜希子



*点訳図書製作 *タペストリー等
今年度でセンター勤務3年目となりました。月日の流れの早さに驚きを隠せません。

一日一日を大切に過ごしていきたいです。

点字校正員 佐賀 善司



*点訳奉仕員の方々と点字図書製作 *新着
図書のお知らせや『タペストリー』の点字版製作
もしも点字の間違ひを見つけたら教えてくだ

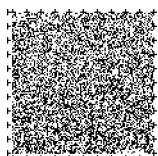
さいね。これからもよろしくお願いいたします。

事務員 小田嶋 玲子



*図書貸出 *新着案内発行、中途失明者の
点字習得に関することなど
外出がままならない今、読書のニーズが高まっ

ていると感じています。皆様のお手元に少しでも早く、より多くの図書をお届けできるように頑張ります。



令和2年度もよろしくお願いいたします

音訳校正員 齋藤 弘子



*音訳図書校正 *音訳養成講習技術指導
*プライベートサービス *対面朗読
業務が円滑に進むように努力して参ります。

IT推進専門員 佐々木 昌広



*身体障がい者パソコンサポーター養成講習会 *視覚障がい者・肢体不自由者のためのパソコン研修(個別サポート)等

今年度もよろしくお願いいたします。

主任情報支援員 小原 淳



*聴覚部門の総括 *予算 *要約筆記者養成 *盲ろう通訳・介助員委託事業

今年も自主制作ビデオに出演して、個性派俳優を目指します！

主任情報支援員 赤坂 佳子



*タペストリー編集 *手話通訳者派遣 *手話通訳者特別研修 *機器展 *文化・学習・レクリエーション
タペストリー編集担当に振り返り(?)まし

た。ご意見、ご感想をよろしくお願いいたします。

主任情報支援員 齋藤 智子



*手話通訳者養成・研修事業 *登録試験事務 *聴覚障害者生活相談 *字幕素材収集等

聴覚障がいを持つ職員として「当事者目線」を大切に、健康に留意(減量含む)しつつより良い支援ができるよう努めます。

情報支援員 鳴尾 芙美



*要約筆記者養成、研修事業 *要約筆記通訳 派遣 *盲ろう関係団体との連絡調整

引き続き、日々勉強のセンター勤務です。今年度も誠実な対応に努めて参りますので何卒よろしく願いいたします。

ビデオ制作専門員 小田嶋 彩子



*自主制作(DVD・撮影・編集) *字幕ボランティア技術指導 *聴覚障がい者個別パソコンサポート等

利用者の皆さまに喜んでいただけて役に立つ映像制作・字幕制作を頑張ります！

今年度もよろしくお願いいたします。

情報支援員 野中 信子



*要約筆記通訳派遣 *要約筆記者養成講習 *字幕(手話)入りビデオライブラリー
*県内サークルの情報収集等

要約筆記者養成では、全国統一試験合格者がひとりでも多く出るよう努めてまいります。

情報支援員兼手話通訳支援員 杉立 美紀子



*手話通訳者派遣コーディネーター *手話通訳者特別研修 *ミニスクール *バリアフリー映画上映等

当センターお越しの際は声をかけていただくと嬉しいです。今年度も笑顔で皆様をお迎えしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

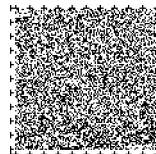
情報支援員 徳江 真史



*字幕ボランティア活動の連絡調整 *聴覚部門広報誌(ぶちたペ) *機器貸出 *文化・学習・レクリエーション企画等

今年で3年目です。おかげさまでいつもご来所される皆さんから元気をいただいております。日々の新しい発見と挑戦する心を忘れずに頑張ります。

「タペストリー」は当センターホームページからでもご覧になれます。



YouTubeにて手話・字幕入り動画「ビデオミニニュース」配信中！

当センターでは、聴覚部門ビデオ制作スタッフが撮影・編集・字幕挿入しYouTube動画配信しています。

当センターHPトップのメニュー「ビデオミニニュース」から入るか、こちらのQRコードからどうぞ。

ぜひチャンネル登録をお願いいたします！ご感想もお待ちしております。



岩手県立視聴覚障がい者情報センターの
公式YouTubeチャンネル

手話・字幕入りビデオミニニュースはこちら



職員

エッセイ de リレー

「初夏の思い出」

情報支援主査 千葉 里美

5月になると思い出すことがある。

今は中学生の息子がまだかわいらしかった4歳の夏、どうしてもとせがまれてつがいのカブト虫を買った。息子は大喜びし、2匹に「ルフィ」と「ゾロ」と名付けた。おがくずを敷いた飼育ケースに虫ゼリーを入れ、名を呼びながらかわいがる様子はとても微笑ましかった。しかし、カブト虫は夜行性、息子が起きている時間帯はおがくずの中に潜り、全く姿を現さない「ルフィ」と「ゾロ」に見向きもしなくなるのにそう時間はかからなかった。

忘れ去られた虫たちを不憫に思った私は、息子の代わりに夜な夜な霧吹きで水分を与え、おがくずや虫ゼリーの交換を怠ら

なかった。

やがて「ルフィ」と「ゾロ」は天に召され、ケースに残ったのは数匹の幼虫たち。もはや土の塊と化した彼らに、家族の誰一人も興味を示すことはなかった。

一層不憫に思った私は、夜な夜な霧吹きで水分を与え、糞の始末や土の交換等、半ば意地になって世話をした。

本格的な夏にはまだ早い5月のある夜、不審な物音に目が覚め、恐る恐る見に行った。

そこで見たものは…飼育ケースの蓋をこじ開けて元気に飛び回る小ぶりのカブト虫。

5月になると必ず思い出すのだ。

育て上げた達成感と、その後からこみあげてきたまたいちから始まるの!? という何とも言えないあの気持ちを。

(次回は熊谷ゆき子情報支援員にバトンタッチ)

発行／岩手県立視聴覚障がい者情報センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 4F

TEL・019-606-1743 FAX・019-606-1744 Email・iwatesan@aiina.jp

URL・http://www.aiina.jp/facility/sityoukaku/sityoukaku.html

次回 9月20日発行予定

「タペストリー」とは

皆で持ち味や個性を織り糸にして、創りあげるセンター、との願いです。感想・ご意見などありましたら、お寄せ下さい。

